

2022年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／プレイヤーコース											
楽器 レッスン 4											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	渡邊 具義/内田充 田中亮輔/田中綾美/下田武男			実務 経験	有	職種	音楽家				
担当教員紹介											
メジャーレーベルアーティストのサポートプレイヤーとしてコンサート実演、レコーディング等の実務経験を持つ。 他長年にわたり個人やグループ等の器楽技術、音楽理論等のレッスン経験を有する。											
授業概要											
この科目を受講する学生は、プロの世界が協働の場であることを理解し、ミュージシャンとしての楽器知識を得るとともにコンサート制作現場での職業についての知識も『楽器デック』を中心に学習する。出演者、裏方共通してどのような知識が必要で、どのような人間的資質が求められており、評価されるのかを理解できるようになるのがねらいである。											
到達目標											
この科目では、学生が、日々の音楽活動においての楽器の扱い方を学び自分の機材をベストな状態を保てるようになる。またバンド活動などで、他パートの機材知識知ことでセッティングの時間短縮、音色の理解につながるアンサンブルの向上、リハ、本番での作業効率の向上することができ、プロになって活動するために必要な能力を具体的にイメージすること、社会で協働することの重要性を理解することなどができるようになることが目標になる。											
授業方法											
この授業では、まず講師よりその回のテーマとなる機材について基本的な使用方法、注意点などをレクチャーする。その後実際に機材を使い実践して知識を習得する。回を重ねることで楽器全般の扱いを理解し。他のミュージシャンの機材も扱っていく。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。職業実践の観点から、授業中の受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	セクターなどを使いアンプを使い分けてみる										
第2回	楽器フェア見学										
第3回	ストラト、レスポール、フロント、リア、などギターの特徴を考察する										
第4回	プレベ、ジャズベなどのベースの特徴を考察する										
第5回	ドラムチューニングでキャラクターの違う音に変える										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／プレイヤーコース	
楽器レッスン4	
第6回	マニピレーターの仕事内容と重要度を理解する
第7回	ライブ時におけるFOH環境と楽器の出音の関係性を理解する
第8回	Real Dreams MU科RH見学
第9回	音作りまとめ
第10回	バンドのリハーサルに立ち会いどのようなことを決めているか理解する
第11回	バンドとともに音作りをする
第12回	学生のみで簡易PAセット組む
第13回	プロバンドのセッティング、サウンドを理解し学生のみでセッティングできるようになる
第14回	プロバンドのセッティング、サウンドを理解しFOHの音も出す
第15回	後期まとめ